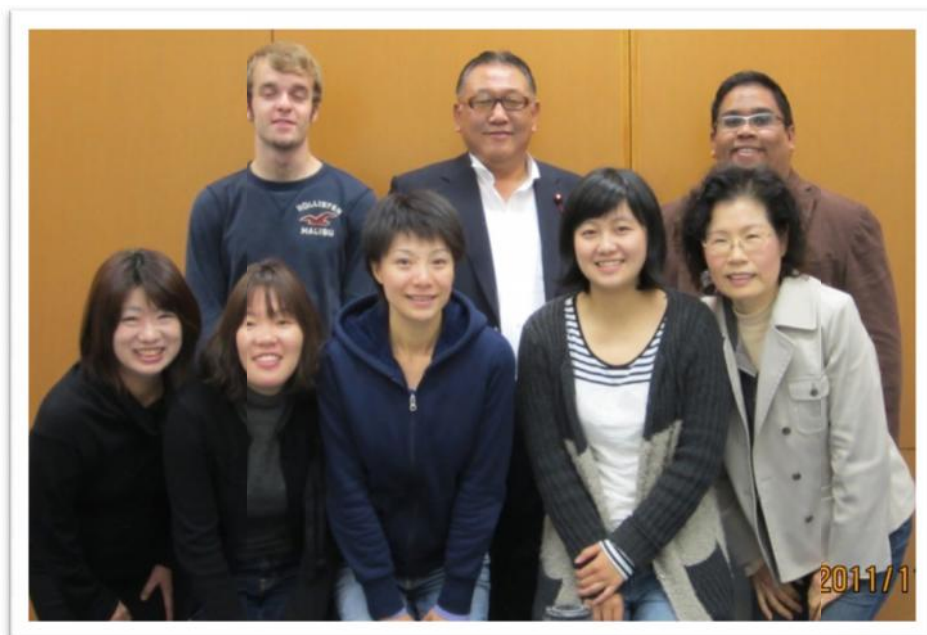


# 広島おもてなしプロジェクト

## 「在広留学生グループインタビュー」



森本市議と留学生のみなさん

### <留学生出席者>

- ・ 耿 穎 (コウ・エイ)
- ・ 黄 美蘭 (コウ・ビラン)
- ・ 孫 芸文 (ソン・ゲイブン)
- ・ ヌルバイザル・アザム・アリフ
- ・ 孫 敏晶 (ソン・ミンジョン)
- ・ ディートマソ・ステイーブン

議長： 森本 健治 (広島市議会議員)

議事アシスト・写真： 劉 艶      ナビゲーター・編集： 高橋 道子

### ▼インタビュー内容の紹介

- ・ 留学地を日本及び広島に決めた理由
- ・ 広島で留学生生活を始めてからの、広島の印象
  - ・ 街の人々の印象
  - ・ 戸惑う点 (交通・物価・生活面)
  - ・ 広島の文化や催事への提案
  - ・ 情報発信の仕方への提案



## 森本健治市議より自己紹介

### 今題（グリーン）の趣旨説明

今年4月から初めて広島市の議員になりました。森本と申します。私は15年間ボランティアと街づくりの仕事をしてきました。その経験の延長線上で、議員にならないと街づくりや地域内の改善はできないと思い議員になろうと思いました。

今月（11月）18日まで上海に行って来ました。中国との繋がりを深くするとの目的でね。上海までの飛行機も上海から日本への飛行機も人がいっぱいですが、観光目的で日本へ来られる方は極めて少ない。何故かと言えば、広島に魅力を感じていないからじゃないからではないか？と思います。

宣伝不足で外国人観光客が減っていて何とか対策を考えないといけない！と思いました。

広島を魅力的な街としてどのように創っていこうか？「おもてなしな街」をいかに作っていこうか？

今日はこの場をお借りして皆さんの意見をお聞きしたいです。宜しくお願い致します。

▽では、まず皆さんにの自己紹介からお願い致します。

#### ○耿 穎（コウ・エイ）さん <中国>

4月から中国のハルピンから夫婦で来ました。現在、広島国際学院大学の現代学部で勉強しています。広島留学生会館には夫と二人で生活しています。

初めて広島に来た時は広島の暖かさに感動しました。とても穏やかに、暮らしやすい街だと安心しています。留学生会館もあるし、生活と勉強には助かります。あと、遊園地がないからあればもっと良くなると思います。

#### ○孫 芸文（ソン・ゲイブン）さん <中国>

今年の4月から広島大学に入学しました。孫です。中国の大連から参りました。現在修士1年生です。航空便の便利さでとても快適でした。

実は大学時代、交換留学生として茨城県で滞在した事があります。その時の友達に誘われ広島へ遊びに来た事があります。その当時は広島に好印象でした。一週間の滞在で広島が好きになりました。その後大連に戻っても、習得した日本語を利用して通訳のアルバイト等をしました。広島とはひとつの縁ともいえると思いますが当時は、大連での通訳のお客さんは広島の方ばかりでした。

さらに広島大学は大連大学と姉妹校だったので、このチャンスを利用して広島に参りました。大連では歌で「広島の恋」が流行っております。広島とは全然関係ない歌なのですが、この歌が大好きでこの歌で印象を深くしました。大連の一般の人々もこの歌で「広島」を知った人が大勢います。

○孫 敏晶 (ソン・ミンジョン) さん <韓国>

韓国のソウルから来た孫です。もう一度ピアノが習いたくて9月にエリザベト音大院に入学。日本に来た理由は2003年日本人の友達ができまして、交流を始めたからです。

○黄 美蘭 (コウ・ピラン) さん <台湾>

台湾から参りました。今年の4月広島修道大学に入学した黄です。経済の勉強をしたくて、流通の研究を続けたいので修道大学に入学しました。

故郷は高雄です。広島から高雄に帰るには時間がかかりかかります。台北に先に行って新幹線で高雄へ。実家に着くのが夜になります。

○ヌルバイザル・アザム・アリフさん <マレーシア>

マレーシアの北の街から来ました。実は日本には以前10年以上住んでいました。最初は富山大学に入学し卒業して帰国。そして日本の大学院に入学し卒業を機に再び帰国。今回日本来るのは3回目です。

○ディートマソ・スティーブンさん <アメリカ>

広島修道大学商学部に在学しています。今年からの生活なので現在は商学部の勉強より日本語の勉強で精いっぱいです。広島には2回目ですが、今回は大学入学の為です。物価が高いので英会話講師のアルバイトをしています。



▽広島印象・戸惑う点

高橋 : 海外から広島にいらっしゃって実際の日常生活で感じた広島の印象を教えてください。

孫敏晶 : 交通のアクセスが悪い。あと広島は一日で観光できる都市ですが、多くの旅行者(団体客でない限り)は車などではなく公共交通機関を利用します。しかしバスや電車などで行ける方法がよくわからないので宣伝が不足していると思います。  
外国人に向けた案内板や看板が少ないと思います。

- 高橋** : という事は公共交通機関の情報発信や案内ボードが乏しい又は目立たないという事ですか？
- 孫敏晶** : そうですね。今現在ある観光場所や季節的な行事がある時もしっかりした情報が欲しいです。あと、自転車置き場が非常に少ないです。みんな自転車で市内に行きたいけど、自転車置き場がないから困る。道幅も狭く自転車の衝突事故なども多いし、怖いです。
- 森本** : そうですね。それは広島市、及び市民も頭が痛い、困っている事柄です。
- アザム** : 街が狭いのでサイクリングは普通にできない。宮島にも自転車でいきたいけど行けない。交通のアクセスが非常に悪い（又は分かりにくい）。市内でレンタサイクルがあればいいです。
- 黄** : とにかく物価が高い。外食は高いのであまり行かない。自分の国と比べて緑黄色野菜が少ない。台湾人は朝食を屋台で食べる事が多いのですが、日本・広島は屋台が少ない。日本では留学生は生活難…豚の骨などの骨類の食品がないのは何故でしょうか？ 豚骨スープやだし汁等を作りたいのだけれどできません。資生堂の化粧品の値段が自国のよりも 4000 円位高いので日本では買えない。
- 耿** : やはり日本の物価が高いので、魚が高くてなかなか買えない。日本にはスーパーが異常に多く肉や魚は小さく切ってパックにしている 500 円位からなので買えない。どうして市場がないのか？ 不思議？ せつかく日本の瀬戸内海に来ているのに大きな（切身じゃないという意味）魚を食べた事がない。
- 高橋** : 日本国内ではデフレと言われ物価は安くなっていると日本人は感じていますが、他国に比べると高い印象でしょうね。特に公共料金は…。では、本題の観光という視点から考えて色々な不満又はアドバイスを頂けないでしょうか？

## ▼観光・文化・情報発信という視点から広島市への要望

- 孫芸文** : 先程も言いましたが、広島には一日で観光できる都市だと思っています。見る物、学ぶ場、楽しむ場が少ない。  
改めて何か創るより現在の観光資源・施設を生かしてしっかりアピールを増やすことが重要だと思います。探せば、見るべき物はあるはずです。  
一日で見られるから便利と考えるか、見るべきものがないと考えるか？  
もっと、見るものはあると思いますが、知らないイメージも湧かない。
- 黄** : 私も、広島は宣伝力が足りないと思います。近くの町も連携して、春・夏・秋・冬の行事を利用して山や海の自然環境を利用すべきです。  
  
五日市の造幣祭りはとても良い所で素敵な催しでした。ただし、一週間しかない。このような桜祭りは素敵なのに外国の方にはほとんど知らされていないことです。もったいない…もっと宣伝

すべきです。造幣局の祭りぐらいしか思い浮かびませんが、もっと、小さなお祭りやイベントがたくさんあっても、いいと思います。

外国では、空港で日帰りパックなどの宣伝が簡単に手に入るけど。日本にもあるかも知れないですが全然機能していないと思います。来年、お友達を呼んで遊びに来てもらうためにも広島メジャーな観光地の他、穴場的なスポット情報を調べたいのですが、広島のインフォメーションが身近で手軽に入手できないものでしょうか？・・・お友達を誘うにはやっぱりサイトを紹介して来る気になってもらうのが早いです。情報発信がうまくいってないのではないかな？

**黄** : それとも未熟で確立されてないのではないのでしょうか？

**スティーブン** : 僕は大学の友達がいるから、色々な所へ連れて行ってもらえるけど、外国旅行者は世界遺産以外の観光を望んでも詳しい情報がないから…わからないのが現実。情報発信が未熟と思う。

**アザム** : 広島は南北で寒暖差があり、短時間でどちらでも行ける。せっかく北は山がありスキーもできリンゴ狩りやイチゴ採りもできる。南は温暖な海・島々があり、みかん狩りなどやサイクリングもできる。一時間か一時間半で行ける観光があれば助かります。  
とにかく、すぐ行ける一日ツアーができたらいいなあ～。  
ツアーと宿、おいしいもの の情報がセットで案内しているサイトがあれば便利です。

**孫芸文** : 私もその意見に近いですね。山も海も半日で行けるのなら、農産物・海産物体験型でその場でのんびり収穫した物を食べて友達とかと時間を楽しみたいです。産地特有の食べ物も、もっと知りたいです。

**アザム** : あと、驚いたのは日本には屋台がない。マレーシアでは朝と夜は外食が多いです。屋台が多いから日本、特に広島は屋台が全然見当たらない。マレーシアの屋台は台湾と違って一か所の場所に様々な料理の屋台が並び、街に解放感や賑わいがある。  
好きな物を買って食べたり、一度に沢山買って家で食べる時ある。

**高橋** : 近郊・近隣での半日・一日旅行」などの積極的な情報発信がシステム化されてないか…主催先は発信しているけれど、それが拡散してないようですね。

**森本** : それと「屋台がない街」という意見が多かったですね。  
「屋台の復活」は現在、勘案中です。前向きに動き出すように頑張りたいと思います。

**高橋** : 西日本には「神楽」という行事が地方文化として定着していますが、そういった西日本ならではの物も見たいですね。平和公園や宮島を見て、お祈りをして。ハイ、終わりじゃなくて…また、新しく芽を出しているパフォーマンスグループ・映像作品などが鑑賞できる企画も大事ななと思っています。言語は分からなくてもシンパシーは感じるのだから・・・

**孫敏晶** : 私もピアニストなので、平和公園へ行った流れの中でいろいろなパフォーマーが映像や音楽などで融合した「癒し～立ち上がれる勇気」のようなステージが見られたら心に残る旅になるような気がします。  
平和公園は鎮魂の場 レクイエム で静かな方がいいのであれば、場所を変えて明るくポップ

な ゴスペル みたいな平和もあっていい。

過去から考える平和と若い人たちが未来のあるべき姿を考える平和 その調和で平和をテーマとしたイベント、講演がたくさん行われる都市公園になればいいなと思います。

私もピアノで協力できる事があれば、その時はコラボしてみたいです。

## ▼これからの情報発信の在り方と今後

森 本 : 従来のチラシ型や情報誌 (情報誌はお金がかかる) のペーパー形式の方法は、随所に配布するとしても限界がある。が、なるべく今まで以上に努力して配布して多くの観光者が手軽に入手できるようにするも大事であると思います。同時並行でネットでの日本国内及び世界に向けての情報発信及び双方向のインタビューが、活性化の有効な羅針盤となってくれるであろうと思います。

今回は初めての試みでしたが、みなさんのご意見をお伺いして大変参考になりました。

これを機に、色々な形で「広島おもてなしプロジェクト」にご協力・ご参加頂ければと願います。今後ともよろしくお願い致します。

今日は休日で大変なプライベートタイムなのに、参加して頂きありがとうございました。